

# 人口減少問題に取り組み減少率の低下を



ふじのり 藤田 慶則 議員(奥和会)

**質問** 働く場の確保、企業誘致等の現状と課題は。

**市長** 有効求人倍率は、概ね一倍を超える状況が昨年の秋以来続いており、高校生の就職内定率も、10月末現在で87・4パーセントと過去10年間で最も高い割合。現時点では、高校生、一般ともに働く場は確保されている。企業誘致の状況は、平成25年度は3社、平成26年度は5社、平成27年度は現在まで2社の新規立地があり、課題としては、人口減少や若年層の管外就職など当地域の労働力不足が挙げられる。

**質問** 今年度の早稲田大学フィールドワークの結婚支援施策に関する提言をどのように評価し、今後どのように反映させるのか。



フィールドワーク提言発表会

**市長** 提言いただいた婚活支援サイト、婚活支援非営利法人への認証制度は、情報発信のあり方や支援団体の信頼性向上という観点で秀逸なもの。提言の良い部分を取り込みながら、総合戦略に盛り込みたい。

**質問** 園児・児童・生徒数の推移は。

**教育委員長** 園児・児童・生徒数の推移と課題は。今後の児童・生徒の推移は、平成27年度から平成33年度までみると、小学生は1年間で約110人、中学生は1年間で約70人づつ減少する傾向。園児については、幼児数の減少に加え、保護者のニーズが、教育から保育へシフトしてきており、公立幼稚園の定員割れが生じる一方、保育所の待機児童が発生している。公立・私立が連携し、効果的に機能するように検討を進める。



奥州市総合計画後期5力年計画

**質問** 新市建設計画の実施計画の中にはあるルール内やルール外の計画は地域協議会に諮<sup>はか</sup>っているが、追加計画はなぜ諮<sup>はか</sup>らないのか。

**市長** 財源の違いがあり、追加計画は一般財源等を使って総合計画の実施計画として行われているので地域協議会に諮<sup>はか</sup>らない。

**質問** 新市建設計画では第三章に新市ビジョンがある。それに基づく(前期)総合計画には地域別の構想等があったが、後期総合計画にはない。次期の総合計画には掲載するのか。

**市長** 今後は地域の意見を集約する努力を行っていききたい。次期総合計画への掲載は今後よく検討したい。

## 新市建設計画の新市ビジョンを次期総合計画へ掲載すべき



おいかわ 及川 たくし 議員(奥和会)

**地域の追加計画は地域協議会へ**

**質問** 平成27年度で地域協議会に諮<sup>はか</sup>っていたルール内、ルール外の計画の財源は終了する。一方地域自治区制度は少なくとも一年以上存在し、それに伴って地域協議会も存続する。地域協議会に今後どのような役割を担ってもらうのか。

**市長** 今後関係者ともによく検討していきたい。

**質問** 平成27年3月26日の総合計画審議会での議事録を読んだが、かなり運営について異論もある。総合計画審議会での新市計画の実施計画・追加計画を検討する考えはあるのか。

**市長** 総合計画審議会での検討することも含め今後よく検討していきたい。